

- 問1

天保の改革において、江戸幕府の支配力を強化するために出された、江戸や大坂の周辺にある大名や旗本の領地を幕府の直轄地にしようとした命令を何というか。

(2025年 静岡県公立入試 類似)

1. 棄捐令

2. 公事方御定書

3. 武家諸法度

4. 上知令（上地令）

問2

江戸時代の対外関係において、長崎の港にある扇形の形状をした人工の島が、ヨーロッパとの唯一の窓口として利用されました。この島で行われた貿易の説明として、正しいものはどれですか。

(2023年 愛知県公立入試 類似)

1. オランダとの貿易が行われた出島

2. オランダとの貿易が行われた堺

3. 中国（清）との貿易が行われた出島

4. アメリカとの貿易が行われた出島

問3

田沼意次が推進した経済政策において、輸出の主力商品の一つとなった、煎りナマコや干しアワビ、フカヒレなどを詰めた輸出品の名称と、その貿易が行われた場所の組み合わせとして適切なものはどれですか。

(2021年 熊本県公立入試 類似)

1. 輸出品：綿織物、場所：堺

2. 輸出品：生糸、場所：横浜

3. 輸出品：朱印状、場所：平戸

4. 輸出品：俵物、場所：長崎

問4

江戸幕府の仕組みが整えられていく過程で、第3代将軍によって武家諸法度が改定され、大名が1年おきに江戸と自分の領地を往復することが義務づけられました。この制度を何といいますか。

(2016年 長野県公立入試 類似)

1. 参勤交代

2. 御成敗式目

3. 封建制度

4. 門跡制度

問5

1804年、ロシア皇帝の親書を携えて長崎に来航し、江戸幕府に対して正式に通商（貿易）を求めた人物は誰ですか。

(2021年 滋賀県公立入試 類似)

1. ハリス

2. レザノフ

3. ラクスマン

4. ペリー

問6

江戸時代後半から幕末にかけて見られた「工場制手工業」が、それ以前の「問屋制家内工業」と比較して、生産効率を向上させた主な要因として正しいものはどれですか。

(2024年 岡山県公立入試 類似)

1. 労働者を一箇所に集め、各工程を専門に行う分業体制を整えたこと。

2. 外国から輸入された最新の大規模機械を各家庭に配備したこと。

3. 職人が一人で全工程を担当し、熟練した技術を製品に反映させたこと。

4. 商人が農民に原料と道具を貸し出し、農閑期を利用して生産させたこと。

問7

葛飾北斎が活躍した時代の文化の特色と、その背景について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。

(2016年 鳥取県公立入試 類似)

1. 織田信長や豊臣秀吉の時代の流れを汲み、金箔を多用した豪華で壮大な芸術が武士の間で好まれた。

2. 江戸を中心とした庶民が担い手となり、浮世絵や滑稽本など、皮肉やユーモアにあふれた文化が発展した。

3. 聖武天皇の時代に唐の影響を強く受け、国際色豊かな仏教文化が国家の保護のもとで栄えた。

4. 上方を中心とした豪商が担い手となり、人形浄瑠璃や俳諧など、人間味豊かな文化が花開いた。

問8

19世紀初めの文化・文政期（11代将軍徳川家斉の時代）を中心に栄えた「化政文化」の特徴として、最も適切な説明はどれですか。

(2026年 滋賀県公立入試 類似)

1. 足利義満の時代に、公家文化と武家文化が融合して生まれた金閣に代表される文化

2. 京都や大坂（上方）の町人を担い手とし、井原西鶴や近松門左衛門らが活躍した文化

3. 政治の中心地である江戸を中心に、浮世絵や滑稽本などの娯楽が広まった庶民的な文化

4. 聖徳太子の時代に、大陸の影響を受けて飛鳥地方で発展した仏教文化

問9

江戸幕府の三代将軍である徳川家光は、大名が1年おきに江戸と自らの領地を往復することを義務づける制度を、武家諸法度を改正することで確立しました。この制度の名称を次の中から選んでください。

(2018年 山形県公立入試 類似)

1. 公事方御定書

2. 天明のききん

3. 安政の大獄

4. 参勤交代

問10

江戸時代の三大改革の一つである「享保の改革」の背景とその内容について、歴史的な因果関係を説明した文として最も適切なものはどれですか。

(2015年 富山県公立入試 類似)

1. 徳川吉宗は、商業の発展が財政を圧迫していると考え、農仲間の解散を命じるとともに、農民の不満を抑えるための裁判基準として公事方御定書を配布した。

2. 幕府の財政難を解消するため、徳川吉宗は大名に米を献上させる代わりに参勤交代を緩和し、裁判の迅速化のために公事方御定書を定めて統治の効率化を図った。

3. 飢饉による社会不安を解消するため、松平定信は目安箱を設置して庶民の不満を吸収し、武士の困窮を救うために株仲間を解散させて物価の抑制を試みた。

4. 外国船の来航に対抗するため、幕府は目安箱を通じて軍事の意見を募り、武士の士気を高めるために借金を帳消しにする公事方御定書を制定した。

問11

江戸時代の農業と流通に関して、干鰯（ほしか）という言葉を用いた説明として、歴史的背景をふまえた正しい記述はどれですか。

(2022年 香川県公立入試 類似)

1. 幕府が享保の改革において食料自給率の向上を命じたため、干鰯は米の増産を目的とした安価な自給肥料として全国の農村に配布された。

2. 貨幣経済が農村に浸透したことで、干鰯が、商品作物の栽培に必要な金肥として広く購入されるようになった。

3. 鎖国体制下で海外からの肥料輸入が途絶えたため、幕府は九十九里浜を直轄領として、干鰯を輸出専用の加工品として独占的に管理した。

4. 新田開発が限界に達したため、干鰯を海産資源としてではなく、そのまま食用として加工することで、飢饉対策の備蓄米の代わりに利用された。

問12

江戸幕府の8代将軍となった徳川吉宗は、幕府の財政を立て直すために「享保の改革」を行いました。この改革において、裁判の迅速化と公正な判断を行うための基準として新たに制定された法律を何といいますか。

(2019年 千葉県公立入試 類似)

1. 御成敗式目

2. 公事方御定書

3. 武家諸法度

4. 禁中並公家諸法度

問13

江戸時代の対外政策において、幕府の統制下で特定の窓口（四つの口）を通じた交流が行われていた状況について説明した文として、適切なものを選んでください。

(2023年 千葉県公立入試 類似)

1. 薩摩藩を窓口として、オランダとの貿易が独占的に行われた。

2. 松前藩を窓口として、清（中国）との長崎貿易が管理された。

3. 長崎を窓口として、蝦夷地のアイヌの人々との交易が管理された。

4. 対馬藩を窓口として、朝鮮との外交や貿易が行われた。

問14

江戸時代に活躍した絵師の一人で、ダイナミックに動く荒波の向こう側に静止した富士山を配置した『富嶽三十六景』などの風景画を多く残し、後にヨーロッパの芸術家にも大きな影響を与えた人物は誰ですか。

(2022年 大阪府公立入試 類似)

1. 葛飾北斎

2. 雪舟

3. 狩野永徳

4. 歌川広重

答え合わせ・解説

問1	答え 4 上知令（上地令）	江戸や大坂近郊の要地を幕府が直接支配し、財政の安定と軍事的な強化を図る目的で出された。しかし、土地を没収される大名や旗本の激しい反対に遭い、水野忠邦が失脚する直接的な原因となった。
問2	答え 1 オランダとの貿易が行われた出島	江戸幕府は、キリスト教の広まりを抑えるためにキリスト教国であるポルトガルを追放しました。その後、長崎の出島を唯一のヨーロッパとの窓口として、キリスト教を布教しないオランダとの貿易を許可しました。出島は扇形をした人工島で、島内にはオランダ商館が置かれ、旗が掲げられた建物や帆船が停泊する様子が見られました。
問3	答え 4 輸出品：俵物、場所：長崎	田沼意次の時代、幕府は財政再建のために長崎での貿易を活発化させました。当時、金や銀の流出を抑えつつ利益を上げるため、銅とともに「俵物（たわらもの）」と呼ばれた海産物を清（中国）へ輸出することを奨励しました。俵物は、中華料理の高級食材として需要が高かった煎りナマコ、干シアワビ、フカヒレなどを俵に詰めたものです。横浜は幕末の開港地であり、朱印状は江戸時代初期の海外渡航に関連する用語であるため、時代背景や場所が異なります。
問4	答え 1 参勤交代	徳川家光が1635年の武家諸法度（寛永令）で正式に制度化したものです。大名に多額の費用を負担させることで経済力を奪い、さらに妻子を人質として江戸に住まわせることで、幕府への反抗を防ぐ狙いがありました。この制度により、江戸と地方を結ぶ街道や宿場町が大きく発展しました。
問5	答え 2 レザノフ	江戸幕府は、長崎の出島をオランダや中国との貿易の窓口として限定する「鎖国」の体制をとっていました。1804年来航したレザノフは、幕府から長崎への入港を許可されていた前任者ラクスマンの経緯を踏まえて長崎を訪れましたが、幕府は最終的に通商を拒否しました。これにより、ロシアとの関係は一時的に緊張することとなりました。
問6	答え 1 労働者を一箇所に集め、各工程を専門に行う分業体制を整えたこと。	問屋制家内工業が個々の家々で作業を行うのに対し、工場制手工業は労働者を工場（作業場）に組織的に配置しました。これにより、一人ひとりが特定の作業に専念する「分業」が可能となり、手作業でありながら大量かつ迅速な生産が実現しました。
問7	答え 2 江戸を中心とした庶民が担い手となり、浮世絵や滑稽本など、皮肉やユーモアにあふれた文化が発展した。	葛飾北斎が活躍した19世紀初め頃の文化は「化政文化」と呼ばれます。元禄文化が上方（京都・大阪）中心だったのに対し、化政文化は政治の中心地である江戸で、教育を受けた庶民が文化の主な担い手となりました。多色刷りの版画である「錦絵」の技術が完成したことで、北斎のような浮世絵師の作品が安価に大量生産され、広く一般の人々に普及したという歴史的背景があります。
問8	答え 3 政治の中心地である江戸を中心に、浮世絵や滑稽本などの娯楽が広まった庶民的な文化	化政文化は、江戸時代後期の文化・文政期に発展しました。17世紀末の元禄文化が京都や大坂を中心としていたのに対し、化政文化は「江戸」を中心としたのが大きな特徴です。寺子屋の普及などによって庶民の教育水準が上がったこともあり、一部の知識層だけでなく、広く庶民が担い手となったことで、生活に密着した娯楽性の高い作品が多く生み出されました。
問9	答え 4 参勤交代	徳川家光は、武家諸法度（寛永令）を改正することで参勤交代を制度化しました。これは大名の妻子を人質として江戸に住まわせ、大名自身は1年おきに江戸と領地を往復させる仕組みです。選択肢にある公事方御定書は八代將軍徳川吉宗による裁判基準、安政の大獄は幕末の弾圧、天明のききりは江戸時代中期の災害を指します。
問10	答え 2 幕府の財政難を解消するため、徳川吉宗は大名に米を献上させる代わりに参勤交代を緩和し、裁判の迅速化のために公事方御定書を定めて統治の効率化を図った。	享保の改革は、幕府の深刻な財政赤字を解消し、武家政治を立て直す目的で開始されました。吉宗は「上げ米の制」を導入して大名から米を上納させ、引き換えに江戸滞在期間を短縮して大名の負担を減らしました。また、合理的な政治運営のために「公事方御定書」を制定し、司法制度を整備したことも重要な特徴です。他の選択肢では、政策の実施者や目的、あるいは政策そのものの組み合わせ（兼捐令や株仲間の解散など）が異なる時代の改革と混同されています。
問11	答え 2 貨幣経済が農村に浸透したことで、九十九里浜などで生産された干鰯が、商品作物の栽培に必要な金肥として広く購入されるようになった。	江戸時代の農業は、刈敷（かりしき）などの自給肥料から、干鰯や油粕（あぶらかす）のように現金で購入する「金肥」へと移行しました。これは、農村に貨幣経済が浸透し、農民が綿花などの商品作物を売って得た現金で、より生産性の高い肥料を買うという循環が生まれたことを示しています。主要な産地である九十九里浜は、この経済サイクルを支える重要な拠点となりました。
問12	答え 2 公事方御定書	徳川吉宗は、それまでの裁判の判例を整理し、役人が裁判や刑罰を決定する際の基準となる「公事方御定書」を制定しました。これにより、独断による不当な判決を防ぎ、司法制度の合理化を図りました。御成敗式目は鎌倉時代、武家諸法度や禁中並公家諸法度は江戸時代初期の法典です。
問13	答え 4 対馬藩を窓口として、朝鮮との外交や貿易が行われた。	江戸時代の「四つの口」は、長崎（オランダ・清）、対馬（朝鮮）、薩摩（琉球）、松前（蝦夷地）という役割分担がなされていました。薩摩藩は琉球王国を支配下に置いて交流し、松前藩は蝦夷地のアイヌの人々と交易を行い、長崎は幕府の直轄地としてオランダや清との貿易を厳格に管理していました。
問14	答え 1 葛飾北斎	江戸時代後期の化政文化において、葛飾北斎は大胆な構図の浮世絵を多く描きました。特に『富嶽三十六景』に見られるような斬新な表現は、明治時代以降に渡欧した際、ゴッホら印象派の画家に高く評価されました。狩野永徳は安土桃山時代、雪舟は室町時代の人物であり、時代が異なります。